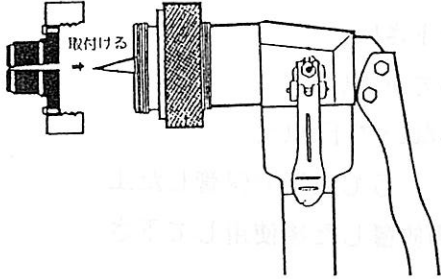


# EA208H 油圧エキスパンダー

銅管のバリ取りをします。



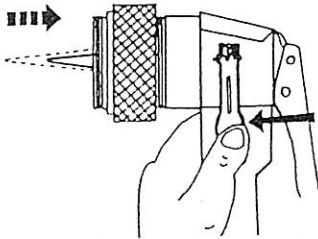
本体にエキスパンダーヘッドを取り付けます



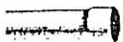
銅管をセットし、可動ハンドルにより拡管をします。



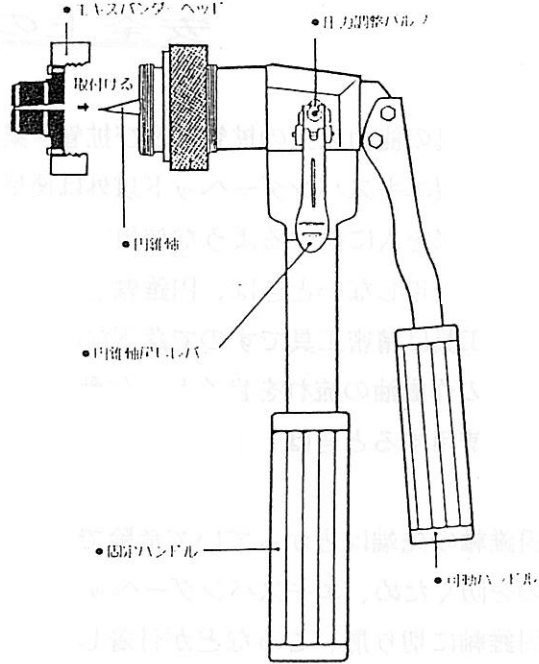
1回で拡げず、銅管を少しずつ回転させてすれば、きれいに出来上がります。  
 拡管完了時、レバーを押すと、円錐軸が戻ります。



完了です。

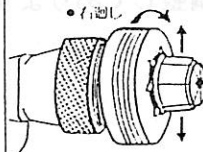


## 取扱説明書

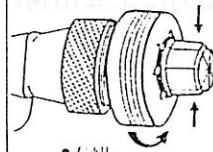


### エキスパンダーヘッドによる調整法

● 右側にすると円錐軸が  
出ます。(取付がない場合)



● 左側にすると円錐軸が  
引込みます。(取付がない場合)



### ！！注意！！

- 銅管以外には使用しないで下さい。
- 直管はなまして拡管して下さい。
- バリ取りをきれいにして下さい。
- 円錐軸に傷が付きますとスムーズに動かなくなりますので丁寧に取り扱いして下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。
- 保管の際は円錐軸に傷が付かないように十分気をつけて下さい。

株式会社エスコ 大阪市西区立売堀3-8-14

☎06-532-6226 FAX 06-541-0929

## 安全上の注意

- ☆ この工具の能力以上の拡管、及び拡管作業以外の作業に使用しないで下さい。
- ☆ エスコ製エキスパンダーヘッド以外は使用しないで下さい。
- ☆ ヘッド部を人に向けるような使用方法は絶対にしないで下さい。
- ☆ 工具を使用しないときは、円錐軸を下死点迄下げた状態で置いて下さい。
- ☆ この工具は精密工具ですので落下など過度の衝撃を与えないで下さい。
- ☆ 工具の作動油の流れを良くし、作動を完全にするため、-5℃以下で保管した工具を使用するときは、10～25℃の室内で約60分間放置した後使用して下さい。
- ☆ 円錐軸の先端はとがっていて危険ですので、安全のため、又、円錐軸に傷が付くのを防ぐため、エキスパンダーヘッドを常時装着した状態にして置いて下さい。
- ☆ 円錐軸に切り屑、ごみなどが付着してありましたら、取り除いてから使用して下さい。切り屑などがかみ込まれますと円錐軸に傷が付いたり、円錐軸が戻らなくなることがあります。
- ☆ 工具の出力は工具出荷時に調整してありますので、絶対に調整しないで下さい。